

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

| | | | |
|-------------------|-----------------------|-----------------------------------|-----------------------|
| 平成 2 2 年度 実施事業 | | 事務事業名 登別フラワーファンタジーロード事業補助金 | |
| 区分 | 番号 | 名称 | |
| 章 | 3 | 大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち | |
| 節 | 1 | 活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる | |
| 施策 | 1 | 魅力ある観光地づくり | |
| 小分類 | 1 | ときめきと感動のある観光地づくり | |
| 主要な施策 | 2 | 観光客のニーズに即応できる受入体制の充実 | |
| 事務事業番号 | 009 | 事務事業コード | 31112009 |
| | | 事業開始年度 | 平成 1 7 年度 |
| | | 事業終了年度 | 平成 - 年度 |
| 会計種別 | 一般会計 | | 予算書上の事務事業名 観光施設維持管理経費 |
| 部 名 | 観光経済部 | グループ名 | 観光室観光振興 G |
| 統合前または名称変更前の事業名 | 登別フラワーファンタジーロード維持管理事業 | | |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------------|--|
| 目的 | (事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 主要道路の緑化風景を創出し、観光地としてのイメージの向上を図り、併せて通年での誘客に寄与する。 |
| 手段 (事業の内容・活動) | (目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 道道洞爺湖登別線の中央分離帯、植樹帯に草花を植栽するとともに、除草等の維持管理を実施することで美しい景観補助に努める。 |
| 成果 | (事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 一般国道 3 6 号から登別温泉への主要道路である道道洞爺湖登別線の植樹帯に草花を植栽することで、桜の時期以外の景観を高め観光地としてのイメージ向上を図り、また、美しい景観を通じたおもてなしの心を演出することで、観光客の誘客に寄与している。 |
| 根拠法令等 | (事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) |

| 指標の推移 | | | | | | | | |
|----------|--------|----|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
| 区分 | 単位 | 区分 | 22年度 実績 | 23年度 目標 | 24年度 目標 | 25年度 目標 | 26年度 目標 | |
| 成果 指標 | 観光入込客数 | 千人 | 目標値 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 | 3,100 |
| | | 千人 | 実績値 | 3,042 | | | | |
| | 宿泊客延べ数 | 千人 | 目標値 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | 1,200 |
| | | 千人 | 実績値 | 1,164 | | | | |

事業費の推移

| 区 分 | | 単位 | 22年度 決算 | 23年度 当初予算 | 24年度 見込 | 25年度 見込 | 26年度 見込 | 24～26 年度 |
|---------------------------------|----------|-------|------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|
| 事業の 財源内訳 | 国庫支出金 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 道支出金 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 地方債 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | その他 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 一般財源 名称 | 千円 | 445 | 650 | 650 | 650 | 650 | 1,950 |
| 合 計 | | | 445 | 650 | 650 | 650 | 650 | 1,950 |
| (参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費 | | 職 員 | 千円 | 173 | 178 | | | |
| | | 嘱 託 員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | 臨時職員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | 合 計 | | 173 | 178 | | | |

担当グループによる事務事業評価の内容

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|
| 今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？ | → | 妥当である 妥当ではない | → 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 当該事業は、平成23年度より補助事業にしており、ホスピタリティ推進協議会の当該活動に対する補助を行うが、当該協議会は収入が無いため、引き続き市が補助することが妥当である。 |
| 成果はあがっていますか？ | → | 成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない | → 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 当該事業の効果が観光客数の入込みにどれだけ寄与しているのかの把握は難しいが、開花期のイメージ向上が図られていることから成果は上がっていると考えられる。 |
| 3. 事務事業の成果向上について | | | |
| 成果を向上させることはできますか？ | → | 大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない | → どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 現在、土壌の関係上1年草を植栽しているが、宿根草の種類を再度検討することで、コスト等の削減を研究している。 |
| 4. 事務事業の経済性・効率性について | | | |
| 成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？ | → | 削減できる 削減できない | → どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 上記のとおり、削減できる・できないについては、多少時間が必要。 |

担当グループによる評価

| | | |
|-----------|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 登別に観光客を誘致するおもてなし策として、当該活動は必要不可欠であるため、現状を維持することとしたい。 |
|-----------|----------------------|---|

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

| | |
|-----------|----|
| 維持 | 備考 |
|-----------|----|

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）